

平成 29 年度 海外農学実習「カンボジア農業・農村実習」 募集要項

主催：信州大学農学部

下記のとおり、本学部 2 年生、3 年生を対象に、平成 29 (2017) 年度「カンボジア農業・農村実習」の参加者を募集します。

■ プログラム概要

グローバル意識の醸成を目指す最初のステップとして、開発途上国の農業生産・流通の現状と課題を体感し、異文化の中で英語や現地の言葉を交えて現地の学生とコミュニケーションを図り共同作業を行う経験をつみます。

そのため、東南アジアでも後発開発途上国とされるカンボジアを訪問し、王立農業大学(Royal University of Agriculture: RUA) の学生とともに、都市部の農産物市場や農村の農業・農産物加工業を営む農家を訪問し、体験学習および農家へのヒアリング調査を行います。

[主な活動計画]

1. 事前学習

- (ア) カンボジアの社会・経済状況、歴史、文化
- (イ) 日本の農業・農村の発展の歴史、文化、現状と課題、
- (ウ) 英語でのコミュニケーション能力の強化、TOEIC および TOEIC IP 受験

2. 海外実地研修

- (ア) 王立農業大学 (RUA) 学生との交流、情報・意見交換
****以下の活動を RUA の学生と共に実施する*****
- (イ) 農産物市場の視察、聞き取り調査
- (ウ) 農村における農業・農産物加工業体験、農家への聞き取り調査
 - 米蒸留酒造農家もしくは養豚農家への訪問を予定
- (エ) 調査結果のまとめと発表

3. 帰国後

- (ア) 農学部での公開報告会 (振り返り、今後に向けて)
- (イ) TOEIC および TOEIC IP 受験
- (ウ) レポート提出

■プログラムの達成目標

- 日本とは異なる食・住の体験を通して「海外に出る」ことに対する自信の強化。
- 世界と日本の社会・経済、農業・農村をとりまく現状を比較することで、課題発見および課題解決に向けた認識の醸成。
- 日本とは違う習慣や考え方、言語を持つ海外の学生と共同作業を行う体験を通して、異文化理解と相手を尊重しながらも議論し意思決定を行い行動することを学ぶ。
- グローバルな課題とローカルな課題の結びつきを認識することで、貧困削減、平和で持続的な発展のため、ローカルな現場での農業・農村開発が目指すべき方向性や農学の役割を考える重要なきっかけにする。

■主な内容 (予定)

- ①事前学習、②海外実地研修、③報告会：上述したとおり。

■期間・スケジュール：

出国日	2017年9月12日
帰国日	2017年9月23日
現地活動期間	2017年9月13日～2017年9月22日 (10日間)

■募集人数：8名（農学部2年生、3年生、4年生、修士課程学生）

■単位：学部共通科目「海外農学実習」2単位を取得することができます。

■参加費用：120,000円～150,000円程度

（内訳）往復航空運賃、現地交通費、現地宿泊費、ビザ申請費用など

・その他の個人負担：パスポート申請費用（申請は各自で）/予防接種費用（A型肝炎）/信州大学が指定する海外旅行保険への加入費用/国内空港までの往復交通費など

■奨学金：日本学生支援機構(JASSO)「平成28年度海外留学支援制度」の採択プログラムです。

①前年度成績係数が2.3以上、②語学力TOEIC400点以上（TOEFL：PBT435点以上、iBT41点以上、もしくは前年度の語学成績評価係数2.3以上）、③家計基準が奨学金受給対象の範囲内である参加者の一部は、奨学金受給対象者となります。

■キャンセルについて：原則として参加者決定後の参加キャンセルはできません。病気や事故により、やむを得ずキャンセルをする場合は、それに伴うキャンセル料すべてを、キャンセルした個人が負担することになります。また、参加期間中に参加を希望する集中講義その他の行事がないことを確認してから申し込むようにしてください。

■応募条件

海外実地研修の前と後のTOEIC受験

全活動内容への参加

本プログラム前後の、積極的な英語学習（English Salonにも積極的な参加を求めます）

■応募と参加者の決定について

提出書類：①応募申請書 ②同意書（*保証人の署名・捺印要）③英語語学能力証明書写し
④家計支持者の所得証明書

提出先：農学部学務G 担当：中村宛

締切：5月15日（月）正午

選考：申請書の内容を審査および簡単な面接によって参加者を決定します。

■出発までのスケジュール

2017年4月12日（水）16：20～17：50 募集説明会（海外研修・留学説明会）

5月15日（月）応募締切

5月16日～19日：必要に応じて面接を実施

5月22日（月）参加者決定：学務担当より応募者全員にメールにて連絡

6月中旬 第1回説明会（研修の概要、必要手続きの説明）以後複数回予定

7月～8月：事前勉強会

■引率教員：信州大学農学部 国際農学教育研究センター 浜野 充

■注意事項：観光旅行ではありません。参加にあたっては、記載事項をよく読み、保護者、クラス担任の同意を得て、同意書を提出してください。

お問い合わせ

（事務手続き）信州大学農学部学務グローバルデスク 中村

電話 0265-77-1446（内線2710） FAX 0265-77-1313

nakamura_akiko@gm.shinshu-u.ac.jp

（研修内容等）信州大学農学部 国際農学教育研究センター 副センター長

浜野 充 hamano_m@shinshu-u.ac.jp